

次の時代の輸送ネットワークづくりを使命に 積載率向上を実現した、 日野プロフィア クールハイブリッド導入

食品を中心とした低温物流サービスのリーディングカンパニーである、ニチレイロジグループ。その物流ネットワーク事業を担い、毎日の暮らしに欠かせない『食』を支えているのが、株式会社 ロジスティクス・ネットワークです。

同社では、環境負荷低減や積載率向上を実現するため、1,200×1,000mmサイズのパレット(T12型パレット)が18枚積載できる、日野プロフィア クールハイブリッド(荷室内寸10m超ボデー)のモニター車を導入。次代の幹線輸送を支える車両として期待されています。



「私たちの使命はこれらの車両を十分に活用して、次の時代の輸送ネットワークを作り上げることで」とモニター車の納車式で挨拶をする、株式会社 ロジスティクス・ネットワークの代表取締役社長 盛合洋行様

カーボンニュートラル、 働きやすい環境づくりに貢献するために

パレット荷役が大部分を占める同社において、積載率の向上は環境負荷低減やドライバーの負担軽減につながるため、重要な取り組みのひとつになっています。営業冷蔵倉庫の規格の多くは、T12型パレットを基準に設計されており、従来の車両に同サイズのパレットを積む場合、最大16枚が限界でした。そのため同社では、約10年前からパレットがもう2枚多く積め、かつ環境対応している車両の開発を熱望。同社協力のもと、架装を担当する株式会社 矢野特殊自動車と日野自動車 が試行錯誤を重ねながら、昨年11月、ついに完成したのがT12型パレットを18枚積むことを可能にした日野プロフィア クールハイブリッドのモニター車です。

同車両のシャーシに、従来と比べ薄くした高性能断熱材を採用したボデーを架装することで、18枚のパレットを積載することが可能に。まずは導入先である協力会社3社の実運送を通じ、各種データを収集しながら効果を検証していきます。

私たちは、お客様に対して維持・継続可能な物流を担保する責任があります。環境への対応は、今後ますます求められてくるでしょう。その点、最新鋭のハイブリッド車による輸送はご要望に添えるはず。またパレットの荷姿のまま保管・輸送するパレット荷役を推進している私たちにとって、積載率の向上は荷役負担の軽減、さらにはドライバー確保につながっていくのではないのでしょうか。



株式会社 ロジスティクス・ネットワーク
執行役員 運輸部長 馬場園 修三様

株式会社 ロジスティクス・ネットワーク
住所: 東京都中央区築地六丁目19番20号
ニチレイ東銀座ビル
TEL: 03-3524-2172
代表者: 代表取締役社長 盛合洋行
設立: 1986(昭和61)年8月8日
従業員数: 1,054名(2021年3月期)
<https://logi-nt.nichirei.co.jp/>



積載率を高めるとともに、カーボンニュートラルに貢献する日野プロフィア クールハイブリッド。

日野プロフィア クールハイブリッド ここに期待!



共進運輸株式会社
代表取締役社長 高橋幸司様

お客様も私たちも、“win-win”の関係になる

会社は従業員あってこそ。ドライバーの働く環境改善につながる、最新の安全装置には期待しています。事故を起こせば家族はもちろん、お客様にもご迷惑をかけますし、本人が最も嫌な思いをするでしょう。ドライバーの働く環境を改善するのは会社の役目です。また、積載率が高まることは、お客様と私たち、お互いwin-winになるのではないのでしょうか。燃料価格の上昇をはじめ、さまざまなものが値上がりしている中、協力し合うことが一番大事だと思います。

“家族と一緒に過ごしたい”、その声に応えられる

燃費・環境もそうですし、18枚のパレットを積めるようになることで、CO₂の排出量がどのくらい削減できるかという点も期待したいです。また、積載率向上で労働環境に配慮した運行スケジュールも可能になりますので、“自宅に帰って家族と一緒に過ごしたい”というドライバーの声にも応えられます。冷凍性能については、私たちが保有するサブエンジン方式と比べ、ハイブリッドシステムを使用することでどのくらいの効果があるか検証していきたいですね。



株式会社 エステケー
取締役 小出明也様



株式会社 藤川商運
代表取締役 藤川吉行様

プラス2枚の積載が、労働条件の改善につながる

ハイブリッドトラックは初めてですので、一番気になるのは燃費。それと匹敵するのが冷凍機の冷えでしょうか。今までと違う冷凍機なので、車両とのマッチングだったり、どのくらいのスピードで温度が下がるのか、また音も気になりますね。積載については、これまでと比べパレットが2枚多く積めるということですから、ドライバーの労働条件の改善につながるのでは。1日2枚ですけど、30日稼働すると60枚、これは大きいです。

日野プロフィア クールハイブリッド ここがポイント!

●シャーシとボデーの最適化で、荷室内寸10m超を実現

日野プロフィア クールハイブリッドのシャーシ(ショートキャブ)に、高性能断熱材を使用した矢野特殊自動車製ボデー(荷室内寸10m超仕様)を架装した場合、T12型パレットが18枚積載可能になりました。



●独自の冷凍システムで、経済性と冷凍性能を両立

直結式の「経済性」とサブエンジン式の「冷凍性能」を両立する冷凍機を採用。ハイブリッドならではの電動冷凍機の搭載により、輸送品質の向上にも貢献します。

冷凍機は、オールインワンのシンプルな構造により、メンテナンスの手間が省け、低騒音・コストの削減にも寄与します。



荷室の前後にスリム化を図った高性能断熱材を使用し、荷室内寸10m3cmを実現しました。